

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05030060

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	2	国民健康保険事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	11	社会保障制度の充実	事業優先度	A		
単位施策	1	国民健康保険・後期高齢者医療運営の安定化	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	国民健康保険システム改修事業		見直し年度			
事業期間	平成28年度～平成29年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	3	税財管理課	
事業指標	システム更新数			#N/A		
事業目標	一式		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	有	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律	
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	平成30年4月からの国保広域化に伴い、北海道及び国保連合会との情報連携が必要なことから国民健康保険システムの改修を行う。					
					国保システム改修 国保事業費納付金等算定標準システム対応	国保システム改修 国保情報集約システム対応
計 画 事 業 費	事業費(千円)	3,075	0	0	0	1,275
	財源内訳					
	国庫支出金	3,074				1,274
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1				1	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,166	0	0	0	1,166
	財源内訳					
	国庫支出金	1,166				1,166
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	0					
関 連 事 項	特定財源の名称 国庫負担金 国民健康保険制度関係 業務準備事業費補助金	【評価・実績】	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) システム改修 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値				一式
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	91%
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	0%	0%	0%	38%
		事業進捗状況				38%

事業名	国民健康保険システム改修事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保険給付係長	前田 忠和

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	国民健康保険システム(総合行政システム)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	システム改修の実施	
【抱える課題やニーズは】	国保広域化に伴い、被保険者証の統一や高額療養費多数回該当の取扱いなど、制度改革による運用方法等が大きく変更となることから、それらに対応するため、北海道及び北海道国保連と被保険者等の情報連携が必要となる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	適正な既存システムの改修	① システム改修	目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	新制度への移行を円滑に進め、被保険者への窓口対応等を適正に行う。また、納付金算定事務等を適正かつ効率的に行う。		目標値	1式
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	システム改修 専門業者への業務委託(見積合せ)	②	実績値	1式
			達成度	100.0%
			目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	納付金算定事務のためには、必要なシステム改修であり、当該事業を実施しない場合、被保険者の所得情報の集計等が必要なことから、膨大な時間と人員を要するため、町が実施すべき事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	既存のシステム導入業者へ業務委託することにより、円滑に事業を実施することができた。また、システム改修により、納付金算定事務を遅滞なく進めることができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	既存システムを改修することにより、事務費の抑制を図るとともに、業務委託により作業負担の軽減と作業時間の短縮を図られた。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	
課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	納付金算定については、保険税の見直しなどへ直結する事務であることから、システム改修については、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通りシステム改修することができ、目標が達成された。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
次年度においても、国保広域化に対応するためのシステム改修が必要なことから、引き続き事業の実施が必要である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止